

## 造船統計速報（令和元年（2019年）11月分）

本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計調査「造船造機統計調査」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

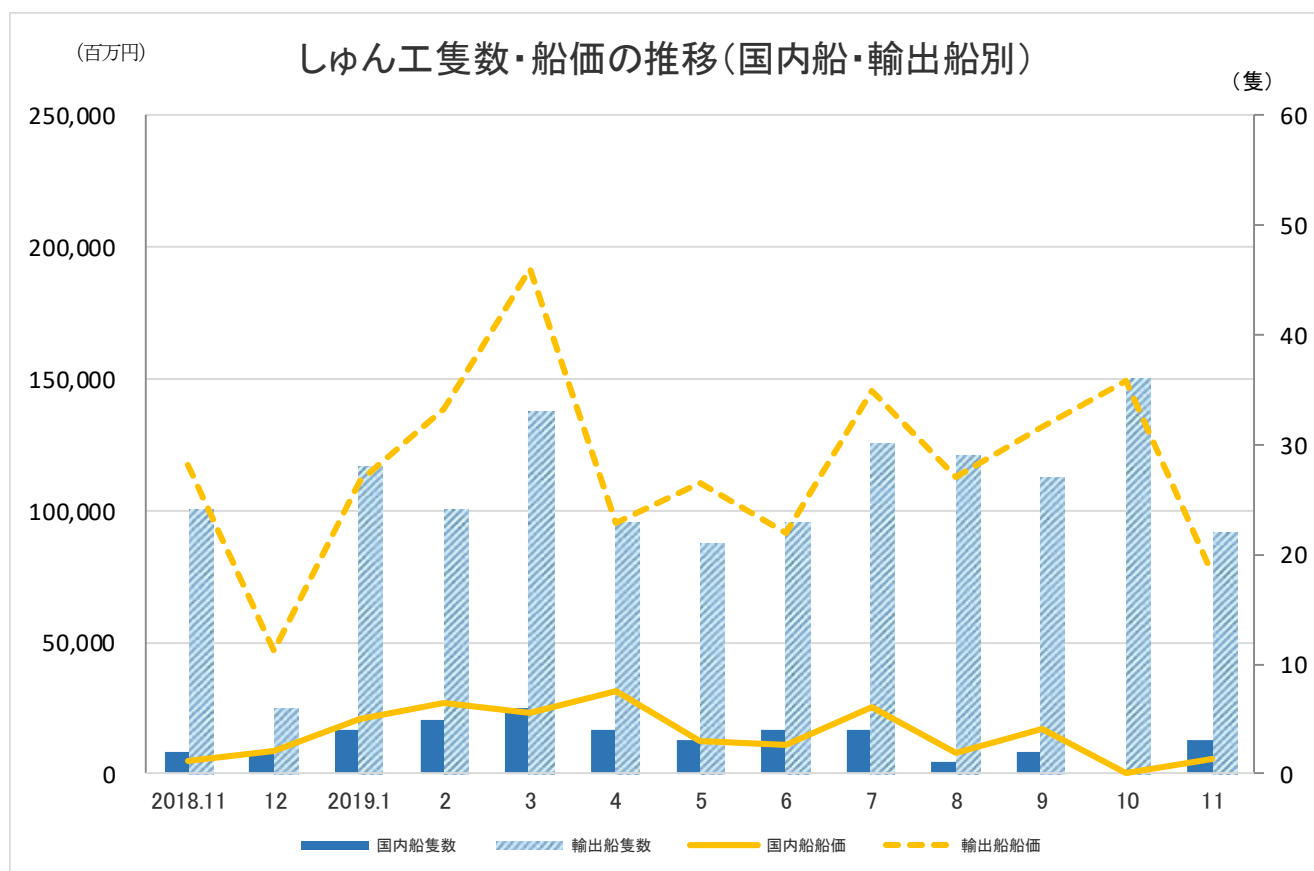
### 1. 概況

令和元年（2019年）11月分の造船主要44工場の鋼船受注・建造実績は、受注5隻、22万1千G/T、起工28隻、110万3千G/T、しゅん工25隻、86万2千G/T、しゅん工船価821億円（前年同月比は36.1%減）であった。

このうち、国内船のしゅん工実績は、合計3隻、1万5千G/Tであった。内訳は、貨物船が1隻（RORO船1隻）、油送船が2隻（化学薬品船2隻）であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、合計22隻、84万7千G/Tであった。内訳は、貨物船が17隻（一般貨物船2隻、鉱石専用船1隻、ばら積み船6隻、コンテナ船1隻、鉱石兼ばら積み船7隻）、油送船が5隻（一般油送船1隻、LPG船1隻、化学薬品船2隻、プロダクトキャリア1隻）であった。

鋼船修繕実績は、合計73隻、工事金額36億円であった。



注1 近年の造船業の統廃合等による情勢の変化を踏まえ、実態に即した的確な速報値の公表を確保する観点から、平成30年（2018年）1月分の速報から集計対象事業所を見直した。なお、集計対象事業所は、過去3年分（平成26年（2014年）～平成28年（2016年））のしゅん工船価の確報値を平均化し、確報値全体の約85%を占めるよう、上位から44工場を選定した。

注2 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。

注3 平成26年（2014年）1月分調査より「受注」を調査事項として追加し、その結果を公表している。

## 2. 鋼船建造実績

(単位:隻, G/T, 千円)

用途別		受注		起工		しゅん工			
		隻数	G/T	隻数	G/T	隻数	G/T	船価	前年同月比
合計		5	220,500	28	1,103,474	25	861,682	82,138,796	63.9
国内船	小計	0	0	2	1,873	3	15,050	5,606,680	—
	貨物船	0	0	0	0	1	14,052	..	—
	貨客船	0	0	0	0	0	0	0	—
	客船	0	0	0	0	0	0	0	—
	自動車航送船	0	0	1	875	0	0	0	—
	油送船	0	0	1	998	2	998	..	—
	漁船	0	0	0	0	0	0	0	—
	その他	0	0	0	0	0	0	0	—
輸出船	小計	5	220,500	26	1,101,601	22	846,632	76,532,116	—
	貨物船	5	220,500	22	869,981	17	721,855	54,171,853	—
	油送船	0	0	4	231,620	5	124,777	22,360,263	—
	その他	0	0	0	0	0	0	0	—

※ 「・・・」内は秘密保護上公表しないものを表す。

## 3. 鋼船修繕実績

	隻数	工事金額 (千円)
合計	63 (10)	1,967,732 (1,673,882)
国内船	54 (10)	1,475,821 (1,673,882)
外国船	9 (0)	491,911 (0)

※ ( )内は、排水トン表示による船舶で、外数である。

お問い合わせ先：  
 国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室  
 電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1567  
 03-5253-8348 (直通)  
 担当：秋元、小林 (内線：28-742)